

そらいろデイの 感染予防

そらいろデイでは、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の予防対策として、TERIOS（テリオス）という次亜塩素酸を導入し、手指消毒はもちろん、設備、器具等の消毒、さらに空間噴霧による除菌を実施するなど、できる限りの対策を講じています。

次亜塩素酸の製法については二つの液を混ぜる「二液法」と電気分解によって生成する「電解法」がよく知られていますが、この TERIOS は従来の製法とは違う特許製法でもある「緩衝法」によって生成されたもので、最大の特徴は高濃度で pH が安定しており、ウイルスから一般細菌まで短時間で不活化する除菌力に優れたものです。

また空間噴霧については専門機関による実現場想定（6畳相当）の空間噴霧試験で、インフルエンザウイルス量は10分間で約99%不活化させることが実証されています。今年4月には宮崎大学においてコロナウイルス不活化試験が行われ実証されている TERIOS ですが、医療機器メーカー・フィンガルリンク社からの依頼により福島大学での成分検査が進められています。海外では南米ボリビア政府が TERIOS 導入にあたって、ボリビア医大においてウイルス不活化の検証試験を実施するなど、注目の除菌剤となっています。

そらいろデイでは、マスクやマウスガードの着用、手洗い、うがいといった基本的な予防対策を実施することとあわせて、TERIOS による除菌対策を講じることで、できる限りの安全対策をとりたいと考えています。

特許製法による次亜塩素酸 TERIOS を導入

▶ 高除菌力が特徴、
福大で成分試験
注目の除菌剤でできる限りの対策



福島大学で品質性能に関する試験が行われている次亜塩素酸 TERIOS



そらいろデイの部屋では常時、専用の機器で TERIOS を空間噴霧

トピックス

「ワインを楽しむ会」がそらいろで体験合宿 真っ赤なリンゴに思わずため息 とりたては格別の味

「ワインを楽しむ会」のメンバーたち4人が「そらいろデイ」で体験合宿にやってきました。まずは裏のリンゴ畑でさっそくリンゴ狩り。真っ赤に色づいたフジを枝からもぎ取り大満足。翌日は桑折の伊達郡役所や厚樫山展望台から信達盆地を一望。二重堀など古戦場を巡りました。



そらいろ自家製のみそづくりが始まりました

今年の7月に植えた枝豆。9月には一部収穫してビールつまになった枝豆ですが、残った枝豆はカラカラになるまで放置し、ついこの間収穫しました。さっそく、スタッフさんたちが大豆を取り出す作業に取り掛かりました。さて、このあとは、みそができるまで、どんな作業があるのか、手探りの自家製みそづくりが始まりました。

